

2024年10月2日（水） 16:00～17:00

- 先端酵素学研究所 B 棟 交流ホール -

江村 菜津子 博士

Brown University, Postdoctoral Research Fellow

「ウニ胚における非対称分裂のメカニズムと進化的役割」

全ての多細胞生物は受精から一個体になるまでの発生過程で、異なる2種類の細胞を産出する非対称分裂(ACD: Asymmetric Cell Division)を繰り返し、様々な器官を作り出していきます。ACDは細胞の多様性を生み出す必須の細胞内現象ですが、その分子機構は未だ明らかになっていません。私の研究対象であるウニは、発生学を代表するモデル生物であり、長年の生命科学の進歩に寄与してきました。ウニ胚では、8-16細胞期でACDを生じ、他の細胞とは異なる小割球を形成します。同じ棘皮動物でも小割球はウニ綱のみに認められ、祖先形態を保持しているヒトデなどでは、小割球が存在しません。このことから私たちは、ウニの小割球を研究することで、ACD機構の解明に加え、その進化的遷移についても考察できると考えています。本セミナーでは、発生学におけるウニの有用性と実際の私たちの研究成果について紹介していきます。

教職員、大学院生、学部学生など皆さまのご来聴を歓迎いたします

お問合せ先： 先端酵素学研究所セミナー 第62回担当

先端酵素学研究所 発生生物学分野 竹本龍也 内線 9160

takemoto.tatsuya@tokushima-u.ac.jp

Institute of Advanced Medical Sciences, Tokushima University

3-18-15, Kuramoto, Tokushima 770-8503, Japan | Tel. +81-88-633-9420 Fax. +81-88-634-6457

